

無所属 河内長野市議会議員 若林やすし 活動報告

河内長野市を『日本一優しいまち』にすべく働きます！
赤ちゃんからお年寄りまでのあらゆる世代にとって優しいまちにします。

河内長野を日本一優しいまちに！

01 お年寄りに優しいまち

ボランティア活動を“お互い様精神”で行えるような仕組みづくり

有志活動に沿ったポイント付与

お互い様精神 → ポイント付与によるハーフ有志活動



- 役に立ちたいと思っている人
- 元気な人（個人や企業など）
- CSR活動（社会的責任）に積極的な企業

有志活動

- 必要としている人
- 困っている人（老人・子どもはじめ全ての方対象）

有志活動… ■ 既存地域活動 ■ 新たなコミュニティの取り組み [病院送迎・だれでもサロン（食堂）等]



6月の議会での若林やすしの録画映像公開中

- 元気なうちに有志活動（ボランティア）、参加者にはポイント付与
- 自分が高齢になった際にポイント活用
- 地域活動の見える化をITにより構築
- 有志活動（ボランティア）拡大による新たな地域コミュニティへの取り組み

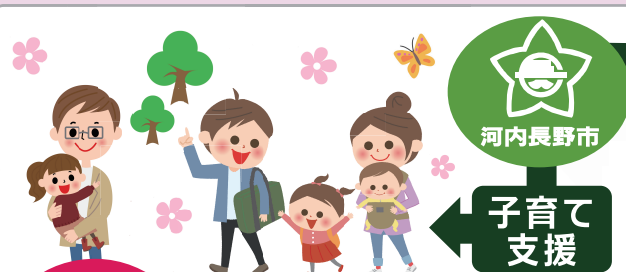
6月の議会ではこの観点を取り上げました

02 働く人に優しいまち

- テレワークに最適な住環境を生かす転入誘致。
- 中学校全員給食早期実現。▶令和8年から開始予定
- 教育都市化推進と実績的ICT教育推進による子育て世代の呼び込み。
- 空き家対策

03 女性赤ちゃんに優しいまち

市のイメージをポジティブに転換し子育て世代にとって住みたいまちに。



補助金

- テレワーク移住支援補助制度
- 近居同居促進マイホーム取得補助金

子育て支援

- 男性育児参加率アップ
- 18歳までの子供医療費助成制度
- 子育て世代呼び込み地域活性化

子育てしやすいまち
住みたいまち
定住したいまち

9月の議会ではこの観点を取り上げました

活動報告!!
令和4年11月号
9月議会報告

無所属
河内長野市議会議員

愛する故郷に新しい風を！
若林やすし

河内長野市の施策トピックス

子育て世代を支援!!

- ① 他市の先駆け【テレワーク移住支援補助制度】
- ② 【近居同居促進マイホーム取得補助金制度】
- ③ 中学校全員給食、令和8年から開始予定

高齢者を支援!!

- ① 高齢者のスマホデビュー応援事業
- ② マイホームスピーカーを活用した高齢者の健康維持・介護予防の取り組み

インフルエンザワクチン3千円助成!!

- 高齢者（10月広報）
- 受験生【（11月広報）中3・高3生】

その他

- 大師町・日東町において【電動カート利用による健康維持の効果検証】

発行元：若林 やすし address：河内長野市美加の台 1-17-2
Tel：0721-65-6679 /mail：wakaba393919@gmail.com
市政に関するご相談・お困りごとなどは、お気軽に公式サイト
(<https://yasushi-wakabayashi.com/>) よりお寄せください

ホームページ
はこちら
から



無所属 河内長野市議会議員

若林 やすし プロフィール

[生年月日] 昭和 37 年 5 月 19 日

経歴

青少年期 河内長野市南青葉台在住

昭和 50 年 河内長野市立加賀田小学校 卒業

昭和 53 年 河内長野市立東中学校 卒業

昭和 56 年 大阪府立富田林高等学校 卒業

昭和 61 年 神戸大学経営学部 卒業

現在、河内長野市美加の台在住

- ・元美加の台保育園保護者会会長
- ・元美加の台放課後児童会保護者会会長
- ・平成 20 年度美加の台小学校 PTA 会長
- ・平成 23 年度美加の台自治会総務部長

現在 (河内長野市議会)

- ・決算常任委員会委員
- ・福祉教育常任委員会委員

地域・その他活動

- ・美加の台まちづくり協議会事務局長
- ・美加の台青少年健全育成会副会長
- ・美加の台みどり会 (老人会) 副会長

令和 4 年 9 月市議会定例会のご報告

若林からの質問



河内長野を『日本一優しいまち』へ、『女性・赤ちゃんに優しいまち』へ、先の議会にて、本市として戦略的に「定住人口の維持」ということを掲げるということでしたが、※シティ・プロモーションの概念を取り入れた施策として、より具体的な戦術、特に子育て世代への呼び込みについてお聞かせください。

※シティ・プロモーションとは、地域活性化のための広報活動・施政活動のことです。

答

シティ・プロモーションにつきましては、本市が従来から持っている豊かな自然、歴史や文化などを生かして、市のイメージをポジティブに転換することにより、市民にとって誇れるまち・市外の方にとっては憧れるまちへと転換を図るものと考えています。

- 南花台地区の公園・サッカースタジアム整備 ●赤嶺市民広場の産業用地化
- 上原・高向地区、小山田西地区の面整備 ●堺アクセス道路整備 等

まちに大きな変化が生まれようとしているこの好機を捉え、教育や子育て支援、移住環境など他市との差別化を図りながら、ブランディングに基づく市のイメージ転換を図り、暮らしたくなるまちとして定住人口の維持につなげてまいります。

今後の取組といたしましては、令和 6 年度に迎える市制 70 周年を転機として、市のイメージ転換につながるシティ・プロモーションを展開してまいります。

- ①市民が心から誇れるまちとしての ※シビックプライドを醸成し、口コミによるイメージの広がりにつなげていきます。
- ②メディアとも連携するなど市内外に市の魅力を発信し、戦略的にプロモーションを進めます。

※シビックプライドとは、「都市に対する市民の誇り」自分自身が関わって地域を良くしていこうとする当事者意識や自負心を指します。郷土愛との違いは「生まれ育った場所」のみではなく「移住した街」も対象となることです。

河内長野市の他市と差別化できる点

- ・大阪一自然に囲まれた豊かな暮らし。
- ・大阪一犯罪発生率が少なく、地盤が強い安心・安全な暮らし。
- ・大阪一歴史と自然を感じる子育てが実現できるまち。
- ・他市に先駆け、テレワーク移住支援補助制度の実施。



with コロナ時代を応援します！
テレワーク
移住支援補助制度
に関する情報は
コチラの HP へ



<https://www.city.kawachinagano.lg.jp/site/jiyuuteijyu/68418.html>

若林からの質問



現状、日本の子育て世代は他国に比較して非常に余裕のなさ、時間貧国ということが言われている。特に妻を苦しめている。

夫婦と子どもの世帯、家事、育児、介護、買物 1 日平均、妻が約 8 時間 30 分、夫は約 1 時間 20 分。先進諸国と比較しても、妻は 2 時間ほど長く、夫は 2 時間ほど短い。男性育児参加率アップの取組はいかが。

答

男性も育児にしっかりと関わっていく中で、家族としていい子育てができるという場所になるというのは非常にいいことである、その方向につながるような施策を検討していく。

河内長野に住む男性がイクメンが多くて女性に優しいねといううわさ、口コミ、そういったところが広まれば、シビックプライドにとってインパクトが大きいものになります。

そして引越してきた子育ての家族、そして本市の財政、そして財政が回り出すと既存の皆さんにも還元されるウィン・ウィンになると思っています。人を育てる環境は、父性が 1 つ、2 つ目が母性、3 つ目が子ども性です。子ども性をというのは、芸術的な面を育てる側面があります。

世界で活躍する日本人バレエダンサーが本市に訪問され (9 月の広報に掲載) 5 人も河内長野市出身でありました。

田舎に引越して川で遊んだり、山に虫を捕ったり、

そうすることによって芸術的感性を育てるんだという話を思い出しました。

お父さんがテレワーク通勤時間が 30 分減って子育てすることにより

お母さんにとって、日本一優しいまちになる可能性。

そして子どもは、子ども性をはぐくみ恵まれた環境で

感情豊かな子どもになる可能性のあるまちです。

河内長野
移住定住
相談デスク
HP



<https://www.city.kawachinagano.lg.jp/site/3ijyuuteijyu/>

若林からの質問



「お年寄りに優しいまち」にすべく、ボランティア活動参加利用促進について地域の支え合いでの仕組みづくりを各地域で頑張っている。担い手の人材確保について、その後の推進状況は？

答

令和 4 年 9 月号広報に支え合い活動の特集記事、及び生活支援ボランティア養成講座の企画、受講者募集記事を掲載した。また大阪府が推進する担い手マッチング事業への参画など検討する。

本市では、デジタル化事業を推進しています。

スマホは、高齢者こそネットスーパーの買い物など使いこなすことによって非常に便利なものがあります。スマホを持っていない人に「買ってください」

だけでなく「おじいちゃん、スマホを持つと防災の連絡があるよ」

「健康の見守りにも役立つんだよ」といった一言を添える、高齢者、

困った方にも優しい寄り添った形で皆さんが受け止めやすいアピールが、

不足しているのでは？と思い「高齢者の方へも優しい」対応を要望させて頂いております。

9 月議会での
若林やすしの音声
配信中

